

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	環境マネジメントシステム普及事業	会計	一般会計	事業No.	353	施策順No.	55-002
		事業種別	政策・その他	予算科目	4-1-5-16-1		
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり			課等名	地球温暖化対策課		
施策	55環境改善活動の展開			事業期間	開始	9	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	飯伊地区の事業所						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)						
	意図	環境マネジメントシステムの認証、自己宣言を行う事業所の数を増やす。(ISO14001、南信州いいむす21、エコアクション21等)						
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	飯伊地区の事業所の数(平成18年事業所・企業統計調査結果 県企画局)		10081			10000		
	(平成18年 飯田市6914 下伊那3677 動向 年▲2.2%)							
		19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	
	ISO14001、南信州いいむす21、エコアクション21の認証や登録を受けた事業所及び自己宣言を行った事業所数。	148	165	165	180	170	200	
	※認証登録には至らなかったが、取り組み相談件数含む							
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	目標に徐々に近づいてきてはいるが、数値の伸びが少なかった。地域ぐるみ環境ISO研究会の活動を通じ事業所へのより一層の働きかけが必要であった。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>1 環境改善活動を推進させるためにISO14001、エコアクション21等の認証取得を目指す事業所に対して、相談・支援を行う。</p> <p>2 ISO14001の認証取得は小規模事業所では困難な場合が多いので、この地域独自の認証システム「南信州いいむす21」を普及させる。 ①「南信州いいむす21」取り組み宣言の支援、相談 ②審査(地域ぐるみ環境ISO研究会による) ③認証取得(広域連合長による) ④ISO14001自己宣言を確認支援する「南信州宣言」に取り組む事業所を広げる。</p> <p>3 自治体が率先垂範して環境改善活動に取り組むために、ISO14001をはじめとした庁内環境マネジメントシステム(EMS)を推進する。</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 飯田市役所ISO14001推進事業 (1)飯田市環境マニュアルの改正 (2)内部監査員養成の外部研修派遣 (3)相互内部監査実施 (4)トップインタビュー開催 (5)自己適合宣言イベントの開催 (6)保育所・学校いいむす21の運用	1 (1)改正回数(回) (2)派遣人数(人) (3)監査員数(人) (4)参加者数(人) (5)参加者数(人) (6)施設数(カ所)	1 (1)1回 (2)2人 (3)83人 (4)98人 (5)134人 (6)49カ所
	2 南信州いいむす21推進事業 (1)初級、中級、上級、ISO14001南信州宣言取組事業所支援審査 (2)自治体の認証登録 (3)ホームページ、広報等を活用したPR活動	2 (1)事業所数(件) (2)登録数(件) (3)PR回数(回)	2 (1)80件 (2)1件 (3)12回
23年度実施計画	3 地域ぐるみ環境ISO研究会の組織強化 (1)代表者会、実務者会の開催 (2)ぐるみ通信の発行 (3)温室効果ガス削減プロジェクトチーム(いいこすいいだ)への参加	3 (1)開催回数(回) (2)発行号数(号) (3)参加回数(回)	3 (1)4回 (2)9回 (3)7回
	1 ISO14001推進事業: (1)飯田市環境マニュアルの改正(2)内部監査員養成の外部研修派遣(3)相互内部監査実施(4)トップインタビュー開催(5)自己適合イベントの開催(6)保育所・学校いいむす21の運用	1(1)環境マニュアル改正回数 (2)外部研修派遣人数 (3)相互内部監査員数 (4)参加者数 (5)参加者数	1(1)2回 (2)2人 (3)90人 (4)100人 (5)130人
2 南信州いいむす21推進事業: (1)初級、中級、上級、ISO14001南信州宣言取組事業所支援審査(2)自治体の認証登録(3)ホームページ、広報等を活用したPR活動	2(1)南信州いいむす21審査、支援事業所数 (2)自治体の認証登録数 (3)PR活動回数	2(1)80事業所 (2)1事業所 (3)12回	
3 地域ぐるみ環境ISO研究会の組織強化: (1)代表者会、実務者会の開催(2)ぐるみ通信の発行(3)温室効果ガス削減プロジェクトチーム(いいこすいいだ)への参加(4)電気自動車の貸し出し	3(1)開催回数 (2)発行号数 (3)参加回数 (4)貸し出し事業所数	3(1)4回 (2)12回 (3)10回 (4)6回	

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補正事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		465	450	465		
計(A)		465	450	465		
正規職員所要時間			3,500			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			12,516			
トータルコスト A+B			12,966			

4 事業に対する市民や議会の意見

ISO14001の認証返上が進んでおり、審査機関による認証登録から地域版EMSの南信州いいむす21の南信州宣言への移行を検討する企業が増加している。平成21年6月に移行した木下建設から、「経費をかけずに認証登録時と同様の取組ができるこのシステムは企業にとってはありがたく、今後の運用においても支援をお願いしたい」との声もあり、この事業に対する期待や要望は大きい。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	環境改善活動を継続的に展開する。	施策の成果指標又はムトス指標	環境マネジメントシステムに取り組んでいる事業者数
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	地域ぐるみ環境ISO研究会の組織と、比較的取り組みやすい制度である南信州いいむす21をはじめとする環境マネジメントシステムにより、飯田市内の事業所において、制度を取り入れる事業所が徐々に増えたことで、地域全体で、環境改善活動が展開されてきた。		
	後期に向けた課題	今後、更に取り組み事業所数が増えるよう、積極的な事業所への呼びかけと、環境マネジメントシステムに取り組むことのメリットをPRすること。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	ぐるみ通信の中で、南信州いいむすに取り組んでいる事業所について紹介したり、市役所や南信州広域連合のホームページで制度の紹介を行った。また、トップインタビューや、自己適合宣言記念イベントに事業所が参加できるよう周知を行った。		
	後期に向けた課題	特に意欲的に取り組んでいる事業所について、その他の事業所に取り組み内容などの紹介を効果的に行うとともに、地域ぐるみ環境ISO研究会の活動のマンネリ化しているので新たな取り組みが必要。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	登録審査や更新審査を行うに当たっては、地域ぐるみ環境ISO研究会の参加事業所の中で、審査や相互に内部監査を行うことにより、最低限のコストで行ってきた。		
	後期に向けた課題	引き続き、事務の効率化を推進する。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	受益者負担なし。市は一事業所として参加し、関与の程度も適切であった。		
	後期に向けた課題	今後も、一事業所として参加することで行政主体とならないように引き続き適切な関わりを保つ。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①飯伊地区の事業所。環境負荷の低減を進めることにより、地域の環境改善に寄与する役割を果たしている。 ②飯伊地区の事業所に対して、南信州いいむす21の概要、環境マネジメントシステムに事業所として取り組む意義等について説明を行い、認証登録に至るまでの支援を行っている。また、「地域ぐるみ環境ISO研究会」に所属して、同研究会の事業活動を協働して実施している。		
	後期に向けた課題	各事業所において、担当者が変わっても、円滑に制度の維持と推進ができるような体制づくり。		
全体を通じて	4年間の振り返り	市内の事業所が、徐々に南信州いいむす21を中心とした環境マネジメントシステムに取り組むようになってきた。		
	後期に向けた課題	さらに環境改善活動に取り組む事業所数を増やすこと。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------